



会長	菅原文之		
幹事	佐々木源悦		
会報	佐々木崇	佐藤静市	
	高橋利光	渡辺光悦	
例会場	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180	FAX22-0327
例会日	毎週木曜日	12:30~13:30	
事務所	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180	FAX22-0327

第2330回例会 2011. 12. 8 No.21

本日の出席率

- ・本日の出席率 82.7%
- ・前回確定出席率 94.2%

ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 今日12月8日は、ハワイ空襲に始まった日米開戦の日です。日本が焼土と化したはじまりでもあります。時を越えて東日本大震災による大津波の被害。本日お見えの山内正文南三陸町復興市実行委員長の、更なる奮闘を祈って、本日のスピーチを歓迎致します。又、活きの良い魚を宜しく願います。
- ・阿部泰彦会員 南三陸町復興市実行委員長山内正文氏をお迎えして。毎日ご苦勞様です。
- ・阿部賢悟会員 阿部泰彦パスト会長のスピーチ、ゲストスピーカー山内正文さん、よろしく願致します。今後共南三陸町の復興にご尽力下さい。
- ・飯塚仁哉会員 宮石の社長襲名披露目たく滞りなく、幸一会員は紳士が洋服を着た様な人ですから。(株)ヤマウチの山内正文社長は、上沼の佐藤一男君の妹さんのダンナです。
- ・富士原裕子会員 本日のゲストスピーカーの山内様毎日復興のためのご尽力、ほんとうにご苦勞様です。私達に出来ることはほんとうに微力な事と存じますが、何とぞご協力をさせて頂きたいと思ひます。これからもお身体に気をつけられて、ご活躍をお祈り致します。
- ・長沼盛雄会員 昨夜の法人会のボウリング大会で皆様の足を引張り、遠藤光則副会長申し訳ありませんでした。本日は、阿部泰彦会員のスピーチ担当、一週間前から楽しみにしていました。ご期待申し上げます。
- ・佐々木源悦幹事以下、阿部泰彦会員のスピーチ担当、ゲストスピーカーの山内正文様を歓迎して。

- 布施孝之会員 及川勝永会員 佐藤幸一会員
 - 千葉吉男会員 氏家良典会員 菅野幸一郎会員
 - 山田直志会員 佐竹孝行会員 二階堂學会員
 - 遠藤光則会員 猪股育夫会員 岩瀬正彦会員
 - 武川毅会員 只野佳旦会員 高橋義文会員
 - 岩瀬栄市会員 杉田広仁会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会長

12月8日は、日本海軍がハワイを空襲して日米戦争が始まった日です。午前4時頃から始まり、第一次攻撃隊、第二次攻撃隊、丁度終って日本に帰るような今頃の時間だそうです。日本が焼け野原になったことの始まりでもあります。この戦いに参加した人が石森にいます。その人は鈴木三守さんという人です。この人は佐沼中学校を卒業して海軍兵学校に入ったという非常に秀才だったそうです。当時この辺では東大に入るよりも難しかったと聞いております。その人が戦死をしたということで2階級特進で軍神になられたそうです。この様に石森からは有名な人が出るところですね。

今日は、ゲストスピーカーとして(株)ヤマウチの山内正文社長がおいでになっておられます。震災復興委員長として色々ご苦勞があることと思ひますが、現状をお話いただければありがたいと思ひます。微力ではありますが出来る限り協力をしたいと思ひます。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・塩釜RCより、創立60周年記念式典出席に対するお礼状がきています。
- ・桐生RCより、南三陸町歌津の支援に関する件
- ・ガバナー事務所より
 1. 「東日本大震災復興基金補助金申請書」期日、増額の案内
 2. ガバナーズレター、12月号が届く

- ・比国育英会バギオ基金より
2010年度事業報告書の送付及び基金への寄付要請
- ・ガバナーエレクト事務所より
次年度役員キッドが届く

各委員会報告

- ・姉妹クラブ委員会 (菅野幸一郎委員長)
今年も台北西門RCにクリスマスカードを送りたいと思ひます。カード2枚を回しておりますので、お名前、メッセージを書いて下さい。
西門RC創立35周年記念式典参加の件、12月25日を締切りとします。多数のご参加をお待ちしています。
- ・親睦活動委員会 (富士原裕子副委員長)
クリスマス家族会のお知らせ
日時 12月23日(金) 18:00~21:00
場所 ホテルサンシャイン佐沼 2階
会費 大人4,000円 子ども1,000円
※オークションの売り上げ金は、義援金として活用しますので、より多くのご提供をお願い致します。又、出席されない会員にもご協力をお願い致します。
- ・長期交換留学生委員会 (八谷郁夫委員長)
今週からホームステイの家族が交替になっております。12月5日から千葉吉男会員の家でお預かりいただくということです。又、フロリダの地区及び村上さんからも連絡が入っております。フロリダ地区では、75人出して75人を受け入れているそうです。当地区では5人程度ですので規模の違いを感じているところです。青少年の交換は将来に向けて非常に大事な事業ですので、今後共ご協力をお願いしたいと思います。

◎次年度の理事

- 小野寺伸浩会員 熊谷敏明会員 佐藤静市会員
- 高橋利光会員 富士原裕子会員 武川毅会員

今週のスピーチ 担当：阿部泰彦会員

ゲストスピーカー

南三陸町復興市実行委員長
(株)ヤマウチ社長 山内正文様

皆さん、こんにちは。

佐沼ロータリークラブの皆さんには、ほんとうに震災以来毎日おいでになり、救援物資やら温かいお言葉をたくさん掛けていただきました。私達南三陸町の町民にとりまして、ほんとうに今回の震災ほど隣町の登米地区の佐沼がこんなに頼れたことはありません。特に阿部泰彦さんには毎日の様に私達にお声掛けをしていただきまして、私達も毎日涙を流しながら有難いなと思っております。

今回、八谷郁夫様から南三陸町の商工会、漁業協同組合、そして、私達の魚屋組合である仲買組合の方に多大なる支援をいただきました。商工会に関しましては、何もない状態の中、備品をたくさん用意していただきまして、お陰様で私達の商業活動も何とか復興に向けて一歩ずつ歩んでおります。漁業協同組合も同じです。船から道具から全部流されてしまいました。そ

ういった状態の中でほんとうにロータリークラブの皆さんには、全世界にお声掛けをしていただきまして、私達に温かい手を差し伸べていただきました。たいへんありがとうございました。この場をおかりしましてお礼を述べさせていただきます。私達も皆様の温かいご声援を受けながら、ほんとうに小さい市ではありますが復興市を一歩一歩存在を確かめながら進んでおります。

今日は、私達の復興市を通しての全国とのつながり、南三陸町がどの様に復興に向けて進んでいるかという話をさせていただきます。

3月11日、丁度地震が起きた時、私は旧魚市場の前の支店の2階にいました。その時、気仙沼の雑誌の取材を受けておりました。ぐらっときたので高い所に置いてあるテレビを最初に押さえました。少したったら揺れがひどくなりましたので、テレビをあきらめ、そばにいた2歳になる孫の上におおいかぶさり、おさまるのを待ちました。揺れがおさまった後、今までにない大きな揺れでしたので8人いた従業員に避難命令を出しました。それから、私は近くの工場に行きました。工場にも20人位いましたので直ぐに避難するように言って店に戻り、全員避難したのを確認しシャッターを下ろし、再び工場に行きましたら、3階建工場の屋上に工場長と若い従業員が上がり津波を見ようとしておりましたので、直ぐに逃げるように指示し3人で本店に逃げ帰りました。他にいる従業員の避難を確認して中学校に登りました。その間約20分の行動でした。私はいつも頭の中で20分間のシュミレーションをしておりました。地震が起きたらあらゆる行動を20分以内にして逃げるというシュミレーションを5~6年ほどやっておりました。そのお陰でうまく逃げる事が出来ました。

— DVDで津波の様子を見る —

今、DVDを見ていただいたように、約10分間で町はなくなりました。この後、私は夜をどう過ごすかと考え行動に移しました。中学校の体育館に全員入れ、学校側と相談し、子ども達は3階に、一般住民は1階と2階、廊下を使って寝ることにしました。非常に寒い日でしたがストーブが使えず、体育館の幕を全部はずしふとん代りにしました。その晩は何とかみんなで肩を寄せ合いながら過ごしました。次の日は高台の入谷からおにぎりの炊き出しがあり分けあって食べ、それからは、800人位の避難者の食事のことで色々走りまわりました。食材を調達し色々工夫して調理をして食事をとりました。2日目には自治会を立ち上げ、皆で協力をし、ほんとうに大変な時期を切り抜ける事が出来ました。

全国の商店街の仲間でお互いに助けようという組織を作っておりましたので、今回は山形県の酒田市を拠点にして色々な物資を送っていただきました。

今は、心をつつしながら進んでいる状態です。

— 紙面の都合上、お話の要点のみ掲載させていただきました。 —